

文部科学記者会・科学記者会
横浜市政記者クラブ 同時発表

2026年8月3日
横浜市立大学

文部科学省「先端研究基盤刷新事業（EPOCH）」に採択 大阪公立大学・名古屋市立大学と連携し、都市型公立大学の研究基盤を刷新

横浜市立大学が連携大学として参画するプロジェクトが、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「先端研究基盤刷新事業（EPOCH）」に採択されました。

採択された「都市型公立総合大学の連携による循環型研究基盤拠点の構築プロジェクト」は、大阪公立大学、名古屋市立大学と本学が、研究設備・機器、研究データ、高度技術人材を大学の枠を越えて相互に活用できる広域的な研究基盤を構築します。これにより、研究者が新たな研究に挑戦できる環境を整えるとともに、地域産業の発展や社会課題の解決を目指します。

本学における主な取り組み

- 1. 研究設備・機器の戦略的な共用・高度化** 全学的なコアファシリティ体制を整備し、先端機器の組織的な管理・共用、更新、学外利用を推進します。
- 2. 高度技術人材と研究支援体制の強化** 先端機器の運用・解析を担う技術専門人材を育成・確保し、URA等と連携したワンストップ型の研究支援を充実させます。
- 3. 公立3大学・地域機関との広域連携** 大阪・名古屋・横浜の公立総合大学が、機器・データ・専門人材を相互利用し、自治体、企業、研究機関との共創を加速します。

J-PEAKS との連携

本学は、文部科学省「[地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）](#)」において、「よこはまデータサイクル」の構築を通じた研究力強化と社会変革を進めています。EPOCHによる研究設備・機器の共用、高度技術人材の育成、研究データの創出・活用は、J-PEAKSで推進する卓越研究の加速、分野融合、産学官連携を支える基盤となります。両事業を一体的に推進することで、本学の研究力とイノベーション創出力をさらに高めていきます。

事業概要

事業名	先端研究基盤刷新事業（EPOCH）
プロジェクト名	都市型公立総合大学の連携による循環型研究基盤拠点の構築プロジェクト
実施期間	2026～2028年度（以降、最長2035年度まで継続実施）
提案・連携大学	提案大学：大阪公立大学 連携大学：名古屋市立大学、横浜市立大学

石川 義弘学長コメント

今回の採択は、本学が進める研究基盤改革を大きく前進させるものです。大阪公立大学、名古屋市立大学との連携により、都市型公立大学ならではの強みを結集し、研究者が分野や組織の壁を越えて先端的な研究に挑戦できる環境を整えてまいります。

J-PEAKS との相乗効果を最大限に生かし、横浜から新たな知とイノベーションを創出し、地域社会と我が国の研究力向上に貢献してまいります。

■関連 URL

[文部科学省 先端研究基盤刷新事業（EPOCH）に関するサイト](https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/mext_00518.html)

(https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/mext_00518.html)

[JST（科学技術振興機構）先端研究基盤刷新事業（EPOCH）に関するサイト](https://www.jst.go.jp/program/epoch/index.html)

(<https://www.jst.go.jp/program/epoch/index.html>)

